

2015 FIS FREESTYLE SKI WORLD CUP in Tazawako Akita



2015 FIS フリースタイルスキー
ワールドカップ秋田たざわ湖大会

モーグル
予選・決勝

2/28(土)

デュアルモーグル
予選・決勝

3/1(日)



モーグル・ワールドカップが開催されます！

2月28日(土)にモーグル、3月1日(日)にデュアルモーグルがたざわ湖スキー場で開催されます。今号では、モーグル競技について採点方法などをご紹介します。

モーグル競技って？

モーグルと言えば、1998年長野オリンピックでの里谷多英選手の金メダル、昨年2月に開催されたソチオリンピックでの上村愛子選手の活躍はご存知の方も多いと思います。

モーグル競技は、フリースタイルスキー競技の一つで、コブ斜面を滑り降り、そのターンの技術(ターン点)、エアの完成度(エア点)、速さ(スピード点)の3つを合算した結果で優劣を競います。

どんなに速くても、あるいはエアの完成度、難易度が高くても、ターンに乱れがあると必ずしも高得点を得られる訳ではありません。上位に来る選手は3つのポイントどれもが高得点でバランスが取れています。採点方法を知っておくと、モーグル競技をより楽しく観戦できるかもしれません。

モーグルの採点

- ターン点 … 60.0満点 (全体の60%)
 - エア点 … 20.0満点 (全体の20%)
 - スピード点 … 20.0満点 (全体の20%)
- 合計100点満点

デュアルモーグル

1人で滑り降り、そのポイントを競い合うモーグルに対して、デュアルモーグルは赤、青の分かれたコースを2人同時に滑り降り、それぞれのポイントで勝敗を競い合うトーナメント方式の競技です。2人同時に滑るデュアルモーグルは迫力があり、白熱します。

モーグル・ワールドカップのプレ大会として
**2015 フリースタイルスキー
秋田・田沢湖モーグル競技会**
が開催されます！

モーグル
予選・決勝(男女)

2/7(土)

デュアルモーグル
予選・決勝(男女)

2/8(日)

会場 たざわ湖スキー場 黒森山モーグルコース

【問合せ】

2015 FIS フリースタイルスキーワールドカップ
秋田たざわ湖大会 組織委員会事務局
(仙北市教育委員会 スポーツ振興課内)

☎ 0187-43-3390 FAX 0187-54-1727
E-mail akita.tazawako.oc@gmail.com

仙北市のまきいぎのわだいのち

ちいぎのわだいのち

11月30日
東京都

第29回東京かくのたて会総会が開催
会場にお囃子が響き、思い出話に花が咲く

11月30日、中野サンプラザ(東京都中野区)を会場に第29回東京かくのたて会総会が開催され、会員約70人が出席しました。

総会に引き続き行われた懇親会では、会員が互いの近況や懐かしい思い出話に花を咲かせ、語らいの輪が広がっていました。飾山囃子なども披露され、会場は大いに盛り上がりました。会場の一角では仙北市のお菓子や漬物などの特産品の販売コーナーも設けられ、ふるさとの味を懐かしむ方々に好評でした。



第29回を迎えた東京かくのたて会総会。大勢の皆さんが参加し盛況に開催されました。



飾山囃子が披露され会場を盛り上げました。

11月23日
大阪市

ホノルル市長杯 第30回全日本ECC中学生英語暗誦大会全国大会
戸澤彩さんが2年生の部最優秀賞を受賞



ECC角館教室から出場した戸澤さん(写真中央)と英語指導者の坂本佐穂さん(左)。

11月23日に大阪府で行われた「ホノルル市長杯第30回全日本ECC中学生英語暗誦大会全国大会」で戸澤彩さん(角館中)が2年生の部でグランドブライズ(最優秀賞)を受賞し、受賞報告に市役所を訪れました。
1000人以上が参加した予選を勝ち抜いた学年別の計50人が出場したこの大会で、1番手の発表ながら「緊張は全くしなかった」と話す戸澤さん。堂々とスピーチを披露し、見事にこの度の栄誉に輝きました。

11月22・23日
三種町

ふるさとマイスター藤原イマさん
わら細工の伝統の技を指導

仙北市ふるさとマイスターに認定されている、わら細工技術者の藤原イマさん(角館町)が11月22日、23日に三種町を訪れ、地域の皆さんにわら細工の指導を行いました。

三種町の岩上川中央熟年クラブでは、伝統文化の保存をテーマにわら細工に注目し活動を進めることになり、優れたわら細工技術を持つ藤原さんに講師を依頼しました。参加者は昔を思い出しながらの作業に悪戦苦闘しつつも、藤原さんの指導を受けサンペイ(わら長靴)作りに熱心に取り組みました。



作業を丁寧に教える藤原さん(右)。藤原さんはわら細工の指導を通じ伝統技術普及活動に努めています。

12月5日
角館榊細工伝承館

平成26年度仙北市交通安全全市民大会開催 交通事故のないまちづくりを誓い合う

仙北市交通安全全市民大会が、12月5日に角館榊細工伝承館で開催され、市内の交通安全関係者や老人クラブ会員など約120人が参加しました。大会では、交通安全に功績のあった個人と団体へ表彰状が贈呈され、仙北警察署交通課長による「地域の交通安全について」の講話に続き、警察官の制服を着た角館西保育園児による交通安全メッセージの発表、県警察本部交通安全指導隊おぼこ隊による「交通安全実践指導」が行われました。最後に「交通安全は職場と家庭の会話から」などの大会宣言を採択し、交通安全への誓いを新たにしました。

表彰者（敬称略）
個人 小瀧功（田沢湖町） 黒坂和夫（角館町） 小松健（角館町）
団体 仙北市立角館西保育園交通安全母の会（角館町）

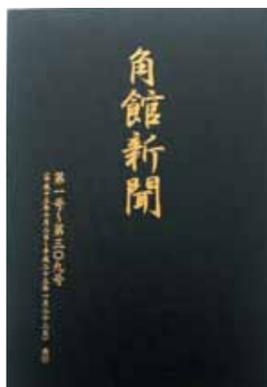


制服姿で元気にメッセージを発表した角館西保育園の園児たち。

12月3日
仙北市

角館新聞合本を寄贈 北のみち社から仙北市へ

この度、北のみち社（富木耐一編集長）からのご厚意により、「角館新聞（第1号〜第309号）」2冊が仙北市に寄贈されました。角館新聞は今年で発行13年目を迎え、月2回、主に角館地区での出来事を紹介しています。この書籍は総合情報センターに設置され、自由に閲覧できます。



約10年にわたる旧角館町、仙北市の歩みを記録した貴重な資料です。

12月10日
神代小学校

神代小学校で奇跡のピアノコンサート 美しいピアノの音色と歌声が会場に響く

12月10日、神代小学校で、「榊細工で生まれ変わった奇跡のピアノコンサート」が行われました。旧小松小学校時代から長く使用され、学校での役目を終えたピアノは廃棄される予定でしたが、様々な方の力添えで現在もその音色を響かせています。当日はピアノリスト・須江太郎さん、ソプラノ歌手・首藤玲奈さんがすばらしい演奏や歌声でクラシックや童謡、

歌謡曲の数々を披露しました。また、ピアノがあった小松小学校の校歌が歌われるなど、趣向を凝らしたコンサートとなりました。最後は、須江さんの演奏に合わせて、首藤さんと会場に集まった児童、神代中学校生徒、訪れた地元の方々が「ふるさと」を歌い楽しいコンサートは幕を閉じました。



上・須江さん（右）の演奏と首藤さん（左）の演奏と歌声が会場を魅了しました。下右・小松小学校校歌を歌うコーラスの皆さん。下左・みんなが歌う「ふるさと」が会場に響き渡りました。



11月22日
中川地域

中川地域運営体 地域の史跡などに標柱設置



10か所に設置された標柱には史跡名やその説明などが書かれています。

11月22日、中川地域運営体は、地域内の史跡などの各所に、標柱を設置しました。主要事業として編集作業に取り組んでいた「中川村郷土誌」を今年夏に発行した中川地域運営体では、郷土誌に書かれた歴史や史跡について、若い世代や地域を訪れる方にも広く知ってもらうため、この標柱の設置を取り決めました。作業を行った皆さんは「地元について再発見や深く知ることにつながれば」と話しました。

12月7日
雲沢地域

雲沢地域運営体 地元の桜を守る活動を展開

雲沢地域運営体の皆さんが、地域にある桜の木が病気などで弱っている状況を改善しようと、樹木医で仙北市さくらアドバイザーの黒坂登さんの指導のもと、桜の剪定作業に取り組んでいます。11月29日にさわやか桜館、12月7日に角館温泉花葉館で、高所作業車を使用しながら、弱った枝を剪定しました。同運営体ではこれからも、公共施設等にある桜を中心に引き続き作業を行うっていく予定です。



「桜で有名な角館。地域の桜もきれいに咲くよう守っていきたい」と作業する皆さん。

かくのだてフィルムコミッション ロケーションだより Kakunodate Film Commission

かくのだてフィルムコミッション
(仙北市観光課内)
☎43-3352
<http://kakunodate-fc.jp/>

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

さて、昨年は、国民文化祭あきた2014の県民参加事業「秋田ゆかりの映画祭」や観光庁「Visit Japan」関連の台湾向けのショートムービーの支援など、初めての事業を行った年でした。これまではTVドラマ・映画などの支援が多かったのですが、これからは、インターネット上で公開され、いつでもどこでも見られる映像の支援も多くなるかもしれません。

ここ数年、TVドラマの撮影の支援も多くなっていますが、求められるエキストラの人数も以前に比べ、増えています。これまで以上に、エキストラ出演のご協力をいただけるよう、かくのだてフィルムコミッションの活動を皆さまにお知らせしたい

と思っています。全国的に地域の素材をテーマにした映画制作の動きも盛んになってきているように感じます。フィルムコミッションは、どちらかという支援する立場で、あまり表立った活動はしていませんが、将来的には、仙北市発の映画を作り、全国に地域の情報発信ができることも視野に入れて活動していきたいと思っています。最後になりますが、かくのだてフィルムコミッションは、今年も地域の皆さまとともに進んでいきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

(会長 坂本洋)



(写真左) 10月に開催した国民文化祭あきた2014 県民参加事業「秋田ゆかりの映画祭」の一コマ (写真右) 台湾向けのショートムービー撮影を支援